質問者氏名	質　問　事　項	質　　問　　要　　旨
3番 川口　延明	1　町の今後の財政状況の見込について	地方自治体における財政状況は厳しく、当町においても同様で、健全な財政運営を行うためにいろいろ努力されておりますが、依然として苦慮されているのが現状ではないかと思います。 そうした中で、町は平成２８年度から３年間の期限で固定資産税の超過課税を実施しました。 実施にあたっては、既存税、特に固定資産税や個人住民税の経年にわたる減少、また行政に対する様々な要求などの増加により、特に町民の生活に関する事業費が確保できなくなってきた旨の説明をされました。 そこで次の３点についてお伺いします。 ①町の財政状況について、今後の見込みはどうでしょうか。 特に、超過課税の３年間の期限となる平成３０年度以降の状況はどうでしょうか。 ②歳入の確保についてどのような方法を検討されていますか。 ③今後もさらなる歳入の確保を必要とした場合、固定資産税の超過課税については、どのように考えていますか。
	2　観光税導入に対しての考え方について	次に、今後の財源確保策として、既存税の拡充と新たな税の創設の２つの手法が考えられると思いますが、次の３点についてお伺いします。 ①神奈川県においては宿泊税の導入を考えているようですが、県税ではなく町単独の課税として考えることはどうでしょうか。 ②また、観光税として新たな税の課税は考えられないでしょうか。 ③入湯税についてはどのように考えていますか。